

# 有名な平面曲線

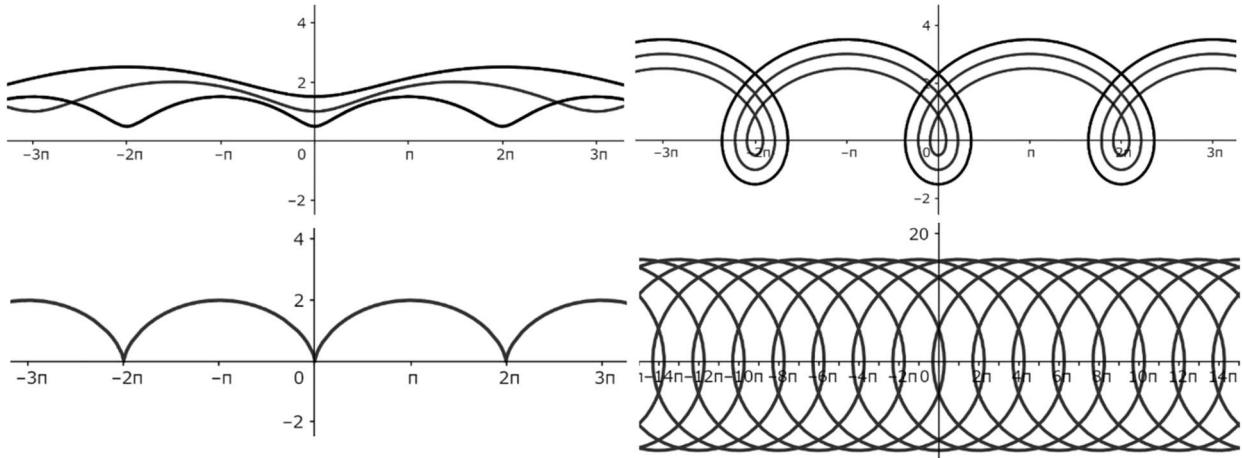
## ■ Trochoid 系

### 《Trochoid》

定直線に接しながら円を滑らないように転がしたとき、その円の内部または外部の定点の軌跡。

動円 (Moving circle) の半径を  $r_m$ 、描画点 (Drawing point) の半径を  $r_d$  とする。

$$\begin{cases} x = r_m\theta - r_d \sin \theta \\ y = r_m - r_d \cos \theta \end{cases}$$



$r_m = r_d$  のとき、つまり描画点が動円周上にあるとき、曲線は Cycloid になる。

### 《Hypotrochoid (内 Trochoid)》

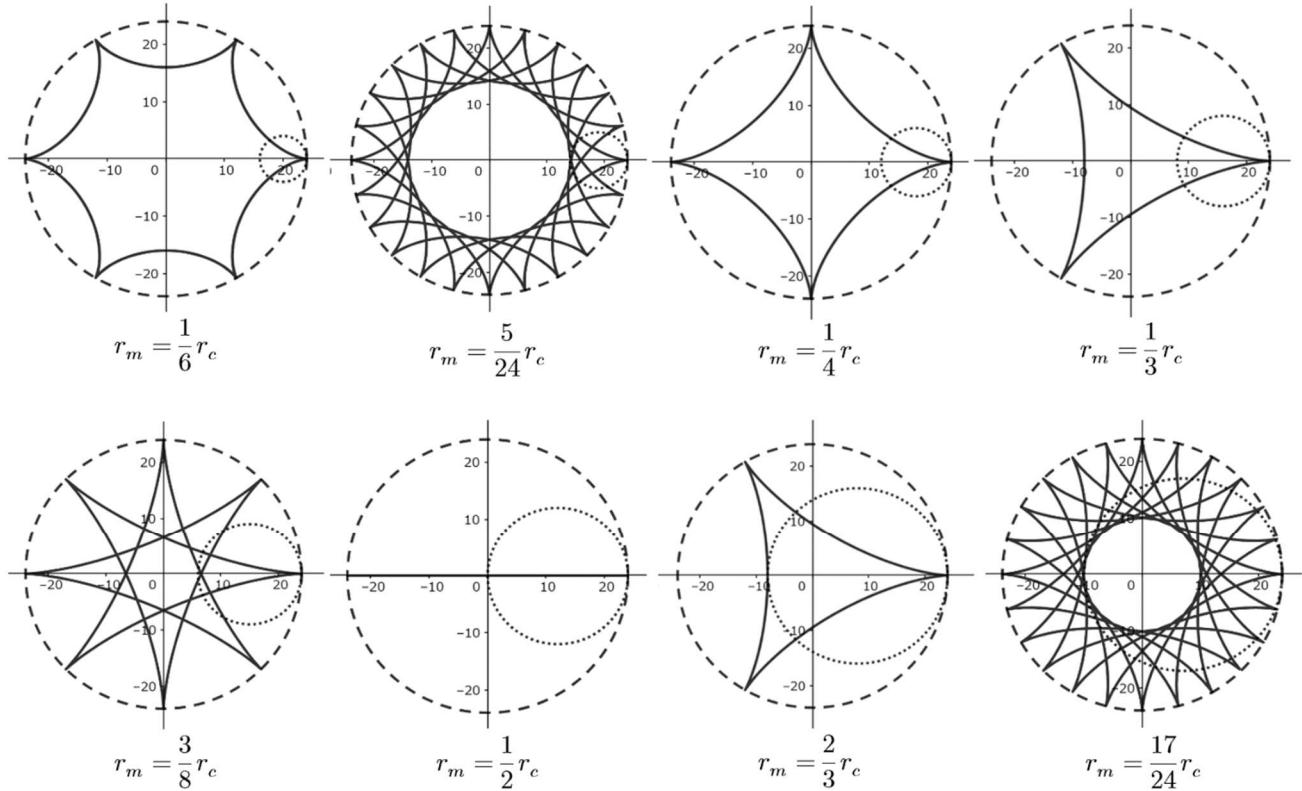
定円に内接しながら円を滑らないように転がしたとき、その円の内部または外部の定点の軌跡。

定円 (Constant circle) の半径を  $r_c$ 、動円の半径を  $r_m$ 、描画点の半径を  $r_d$  とする。

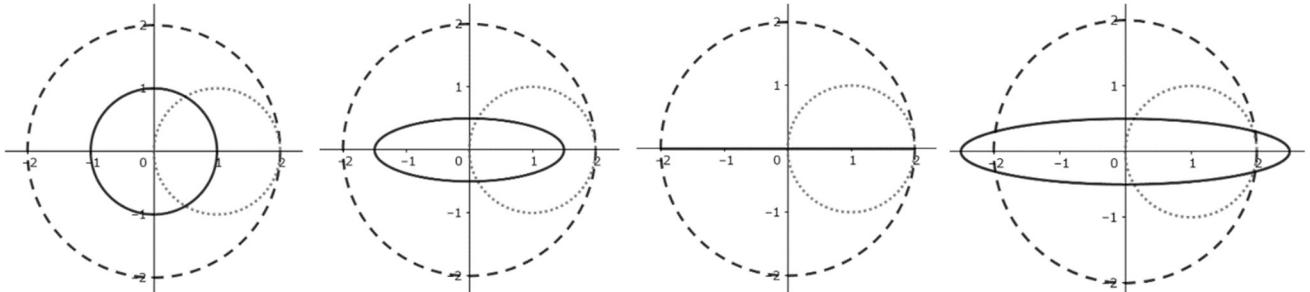
$$\begin{cases} x = (r_c - r_m) \cos \theta + r_d \cos \left( \frac{r_c - r_m}{r_m} \theta \right) \\ y = (r_c - r_m) \sin \theta - r_d \sin \left( \frac{r_c - r_m}{r_m} \theta \right) \end{cases}$$

$r_m = r_d$  のとき、つまり描画点が動円周上にあるとき、曲線は Hypocycloid になる。

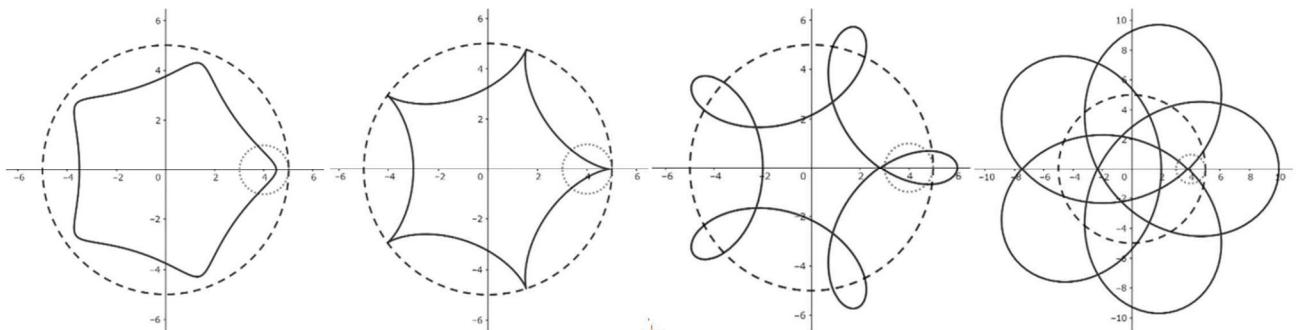
この下で,  $r_m = \frac{1}{4}r_c$  のとき Asteroid (星芒形),  $r_m = \frac{1}{3}r_c$  のとき Deltoid (三尖形),  $r_m = \frac{1}{2}r_c$  のとき定円の直径となる.



$r_m = \frac{1}{5}r_c$  のとき,  $r_m : r_d$  を  $2 : 1$ ,  $1 : 1$ ,  $1 : 2$ ,  $1 : 6$  とした.



$r_m = \frac{1}{2}r_c$  のとき,  $r_m : r_d$  を  $0 : 1$ ,  $2 : 1$ ,  $1 : 1$ ,  $2 : 3$  とした. 軌跡が橢円を描くことを確認せよ.



### 《Epitrochoid (外 Trochoid)》

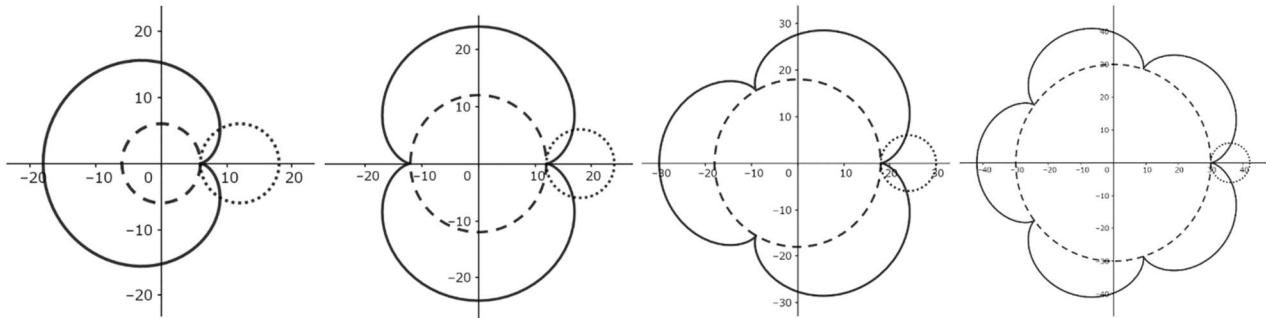
定円に外接しながら円を滑らないように転がしたとき、その円の内部または外部の定点の軌跡。

定円の半径を  $r_c$ 、動円の半径を  $r_m$ 、描画点の半径を  $r_d$  とする。

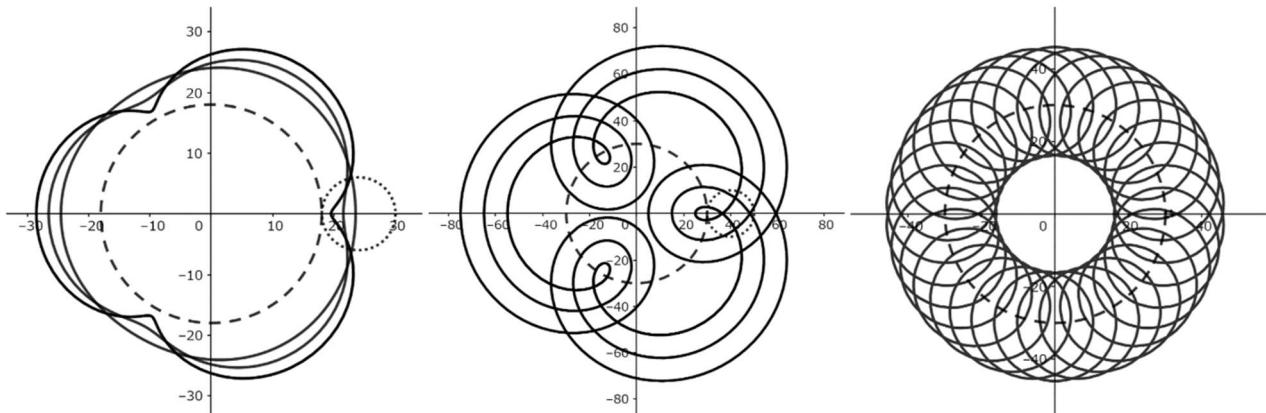
$$\begin{cases} x = (r_c + r_m) \cos \theta - r_d \cos \left( \frac{r_c + r_m}{r_m} \theta \right) \\ y = (r_c + r_m) \sin \theta - r_d \sin \left( \frac{r_c + r_m}{r_m} \theta \right) \end{cases}$$

$r_m = r_d$  のとき、つまり描画点が動円周上にあるとき、曲線は Epicycloid になる。

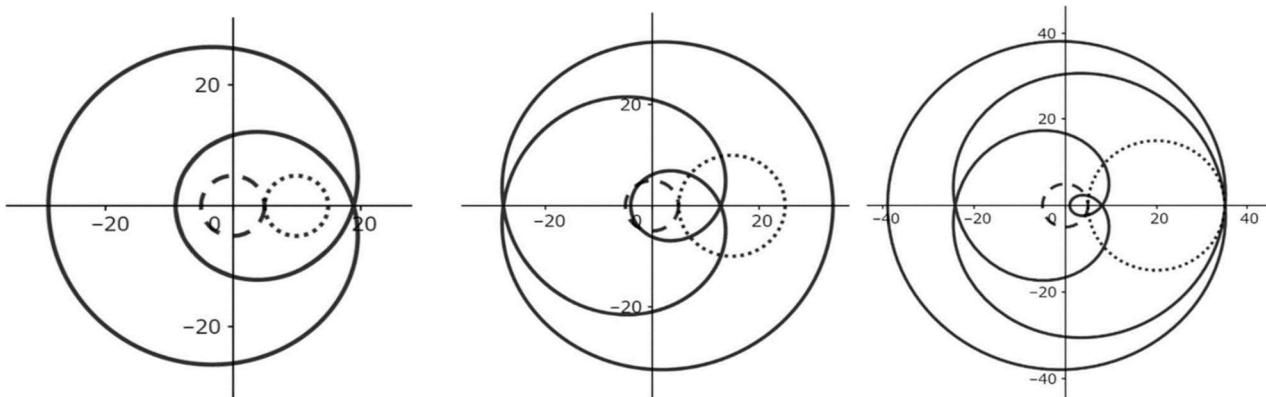
この下で、 $r_m = r_c$  のとき Cardioid (心臓形)、 $r_m = \frac{1}{2}r_c$  のとき Nephroid (腎臓形) となる。



$r_m = \frac{1}{3}r_c$  のとき、 $r_m : r_d$  を変えて、左、中央を得る。右を得る。



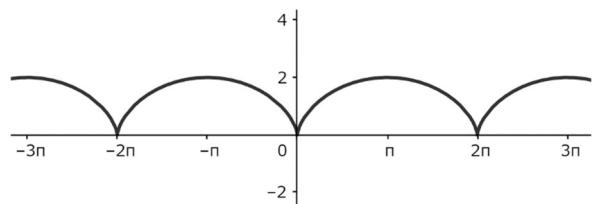
$r_m \geq r_c$  として、 $r_m : r_d$  を変えること次を得る。



## 《特に有名な Trochoid》

① Cycloid (擺線) :  $r_m = r_c$  の Trochoid

$$\begin{cases} x = r_c(\theta - \sin \theta) \\ y = r_c(1 - \cos \theta) \end{cases}$$



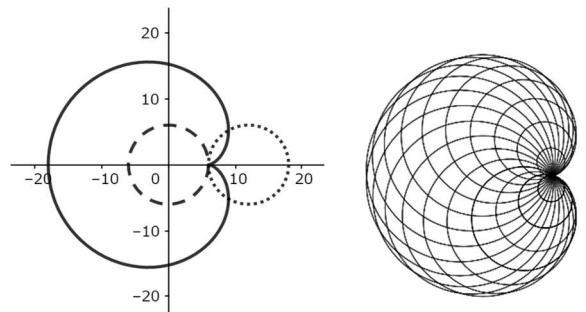
Cycloid は最速降下曲線かつ等時曲線であり、次の微分方程式の解となる。

$$\left(\frac{dy}{dx}\right)^2 = \frac{2r_m}{y} - 1$$

② Cardioid (心臓形) :  $r_m = r_c$  の Hypocycloid,  $a = l$  の Limaçon

$$\begin{cases} x = r_c(1 + \sin \theta) \cos \theta \\ y = r_c(1 + \cos \theta) \sin \theta \end{cases}$$

極方程式  $r = r_c(1 + \cos \theta)$



直交座標での方程式は

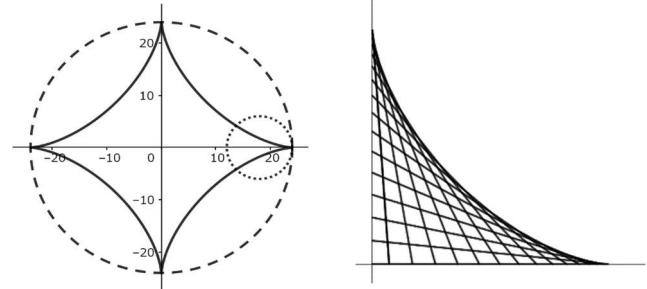
$$(x^2 + y^2)(x^2 + y^2 - 2r_c x) - r_c^2 y^2 = 0$$

③ Asteroid (星芒形) :  $r_m = \frac{1}{4}r_c$  の Epicycloid

$$\begin{cases} x = r_c \cos^3 \theta \\ y = r_c \sin^3 \theta \end{cases}$$

陰関数表示  $x^{\frac{2}{3}} + y^{\frac{2}{3}} = r_c^{\frac{2}{3}}$

端点が  $x$  軸,  $y$  軸上を動く、長さ  $r_c$  の線分が作る包絡線となる。



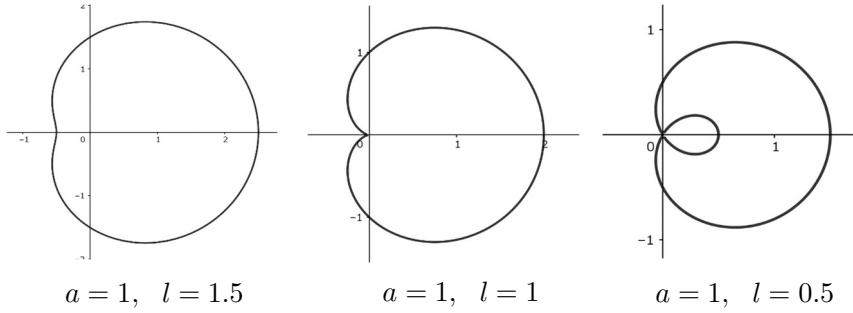
包絡線

## ■ Limaçon

極方程式  $r = a \cos \theta + l$

直交座標での方程式は  $(x^2 + y^2 - ax)^2 - l^2(x^2 + y^2) = 0$

パラメタ表示は  $\begin{cases} x = a \cos^2 \theta + l \cos \theta \\ y = a \cos \theta \sin \theta + l \sin \theta \end{cases}$



## ■ Lemniscate

極方程式  $r^2 = 2a^2 \cos 2\theta$

直交座標での方程式は  $(x^2 + y^2)^2 - 2a^2(x^2 - y^2) = 0$

点  $(\pm a, 0)$  を Lemniscate の焦点と呼ぶ。焦点から Lemniscate 上の 2 点に至る距離の積は一定となる。

$a = \frac{1}{\sqrt{2}}$  とする。円周率と同様の Tension で Lemniscate 周率  $\varpi$  なる数値があり、

$$\varpi = 2 \int_0^1 \frac{1}{\sqrt{1-r^4}} dr = \frac{\Gamma(\frac{1}{4})^2}{2\sqrt{2\pi}}$$

(註) 第一種楕円積分

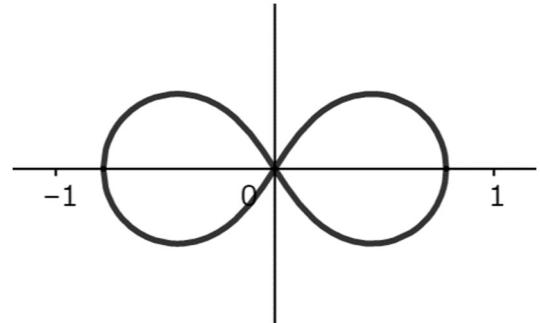
$$F(x, k) = \int_0^x \frac{1}{\sqrt{(1-t^2)(1-k^2t^2)}} dx$$

$$F(\varphi, k) = \int_0^\varphi \frac{1}{\sqrt{1-k^2 \sin^2 \theta}} d\theta, \quad (\text{Legendre の標準形})$$

$$K(k) = F\left(\frac{\pi}{2}, k\right) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{\sqrt{1-k^2 \sin^2 x}} dx, \quad (-1 \leq k \leq 1)$$

を用いて、

$$\varpi = \sqrt{2}K\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\right)$$



(註) Lemniscate の弧長、振り子の周期、は第一種楕円積分、楕円の弧長、正弦曲線の弧長は第二種楕円積分で表される。

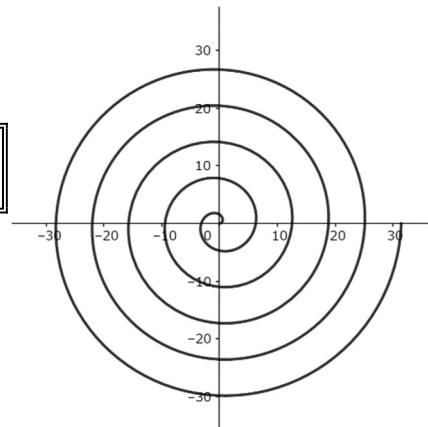
## ■ 螺旋

① Archimedes の螺旋

$$\text{極方程式 } r = a\theta$$

パラメタ表示は

$$\begin{cases} x = a\theta \cos \theta \\ y = a\theta \sin \theta \end{cases}$$

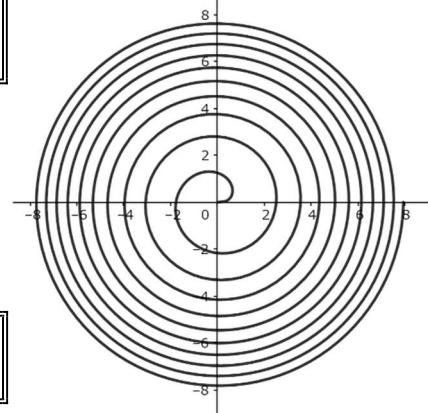


② 放物螺旋

$$\text{極方程式 } r = a\sqrt{\theta}$$

パラメタ表示は

$$\begin{cases} x = a\sqrt{\theta} \cos \theta \\ y = a\sqrt{\theta} \sin \theta \end{cases}$$



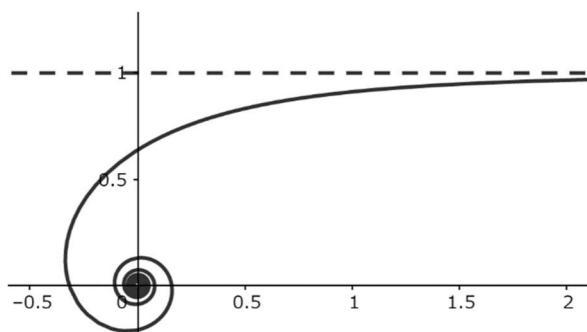
③ 双曲螺旋

$$\text{極方程式 } r = \frac{a}{\theta}$$

パラメタ表示は

$$\begin{cases} x = \frac{a \cos \theta}{\theta} \\ y = \frac{a \sin \theta}{\theta} \end{cases}$$

直線  $y = 1$  に漸近する。



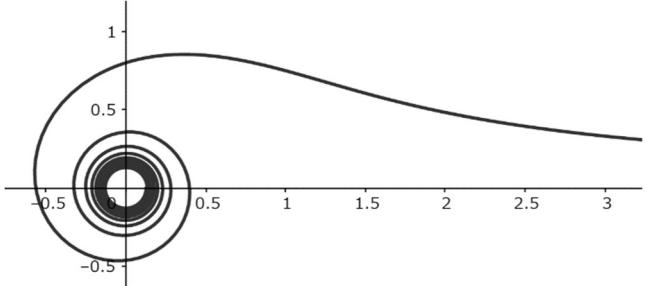
④ Lituus 曲線

$$\text{極方程式 } r = \frac{a}{\sqrt{\theta}}$$

パラメタ表示は

$$\begin{cases} x = \frac{a \cos \theta}{\sqrt{\theta}} \\ y = \frac{a \sin \theta}{\sqrt{\theta}} \end{cases}$$

$x$  軸に漸近する。



## ⑤ Bernoulli の螺旋 (対数螺旋, 等角螺旋)

$$\text{極方程式 } r = ae^\theta$$

パラメタ表示は  $\begin{cases} x = ae^\theta \cos \theta \\ y = ae^\theta \sin \theta \end{cases}$

自己相似, 伸開・閉縮に関して不变である等の性質がある.

(註) 特に黄金螺旋が有名

$$\text{極方程式 } r = \phi^{\frac{2\theta}{\pi}}, \quad r = \phi^{-\frac{2\theta}{\pi}}$$

## ⑥ Euler の螺旋 (Clothoid 曲線)

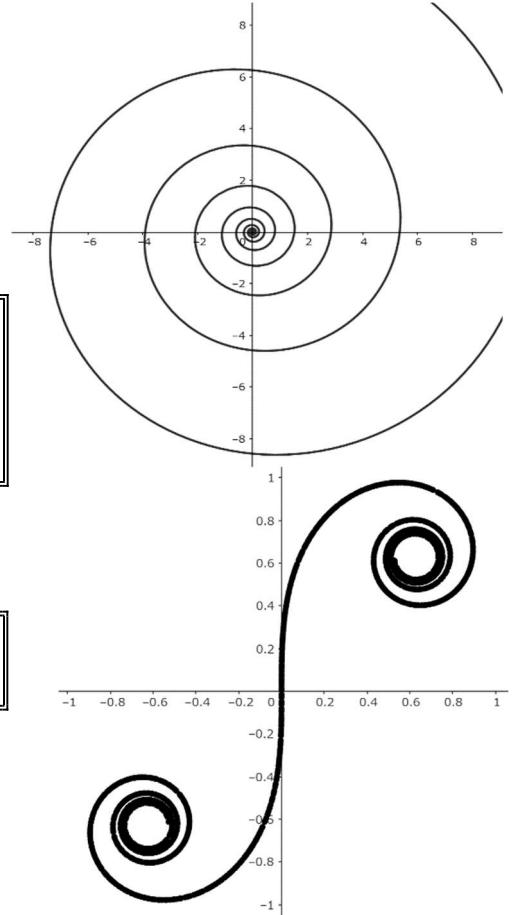
$$\begin{cases} x(t) = \int_0^t \cos \frac{\theta^2}{2} d\theta \\ y(t) = \int_0^t \sin \frac{\theta^2}{2} d\theta \end{cases}$$

Clothoid 曲線上の点  $P(t)$  での曲率  $\kappa(t)$  は原点  $P(0)$  から  $P(t)$  へ至る弧長  $L(t)$  に比例する. つまり,

$$\frac{L(t)}{\kappa(t)} = \text{const.}$$

道路のカーブ等で直線軌道から円軌道へ遷移する際に用いられる緩和曲線の 1 つである.

☞ Fresnel 積分

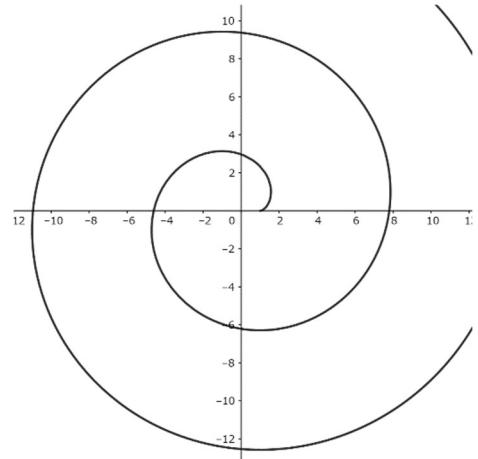


## ⑦ Involute 曲線

その法線が常に一つの定円に接するような曲線である.

$$\begin{cases} x = a(\cos \theta + \theta \sin \theta) \\ y = a(\sin \theta - \theta \cos \theta) \end{cases}$$

☞ 伸開線/閉縮線

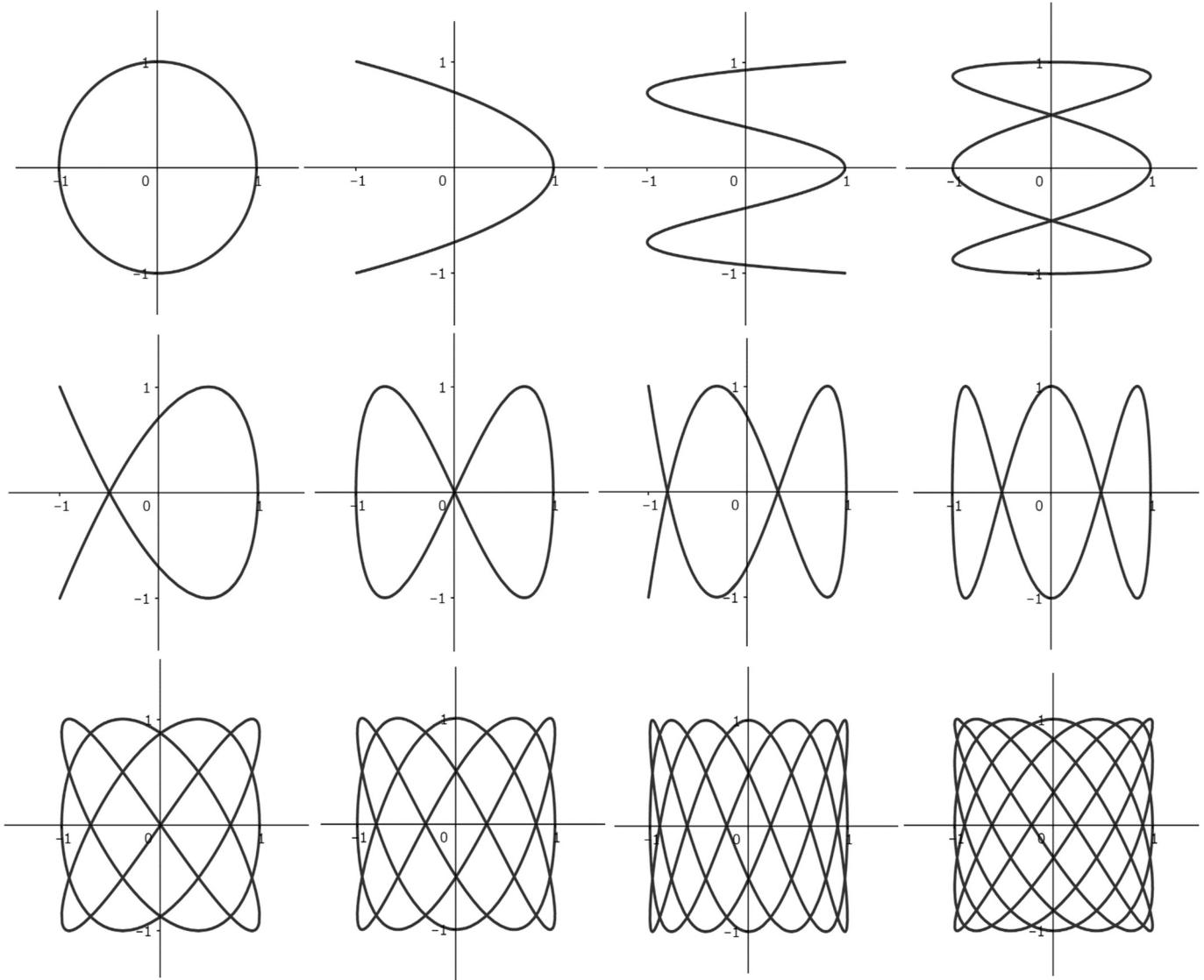


## ■ Lissajous 曲線

2つの単振動を合成して得られる曲線について考える。

$$\begin{cases} x = A \cos(a\theta + \delta) \\ y = B \sin b\theta \end{cases}$$

下は  $A = B = 1$ ,  $\delta = 0$  とし,  $a, b$  を整数値を取って動かしたものである。



位相差  $\delta = \frac{\pi}{6}$  のとき, 次のようになる。

